

2017-2018年度
国際ロータリーテーマ

第2610地区 富山第4分区

Rotary  Takaoka Westロータリー:
変化をもたらす

高岡西ロータリークラブ

2017.10.18 No. 2055

⑭

創立 1966年10月26日 認証 1967年1月25日 [国内創立順位 785] ● 会長 石黒孝志 ● 幹事 引田 均 ● クラブ会報 川津良成、前波 強、金森勇四郎、大原弘之、辻 美也子、伊勢豪範

第2458回 例会 2017年10月11日 (水)

司会 松崎雅子 S A A

◇開会点鐘 石黒孝志 会長

◇ロータリーソング 我等の生業

◇四つのテストソング

会長挨拶 石黒会長

ここ数日、夏に戻ったような暑い日が続きますが、明日からは急激に気温が下がるようです。体調管理には十分お気を付け下さい。

さて、今日の「建築に係る大和言葉」は、

「きざはし」についてお話をします。

「きざはし」は漢字で「階」と書きます。

意味は、階段と同じですが、今はほとんど使いません。「きざはし」と言う言葉は、動詞の「刻む」の「きざ」と「橋」が合わさった言葉です。

ただし、この橋は「川に架かる橋」と言う狭い意味が定着する前の「二か所をつなぐもの」と言う広い意味を持っていた頃の「橋」の事です。つまり「二か所をつなぐきざぎざの刻まれた道」がきざはし、すなわち「階段」と言う事になります。

「きざはし」「かけはし」「はしご」は「二か所をつなぐ道」と言う意味の「橋」から生まれた兄弟言葉です。

明治の歌人で落合直文の歌にわかり易いのがあります。



「山寺の石の
きざはし下りくれば
椿こぼれぬ
右にひだりに」

情景が目にかぶ
歌です。



本日のプログラム 10月18日 (水)

卓話

『高岡愛育園の現状』

高岡愛育園

園長 高田博之様

【報告事項】

★幹事報告 引田均幹事

- ・例会変更、取消について
 - ・例会場変更について
- 次週より4Fも利用

★出席報告 金田豊和会員
会員数 53名 出席者 38名
出席率 86%

★ニコニコBOX報告 広上利晴会員
石黒会長「天候が暑くなったり寒くなったり不安定です。体調管理には十分にお気をつけ下さい。金田さん卓話よろしくお願ひします。」

引田幹事「金田さん本日の卓話よろしくお願ひします。」

在田さん「暑さは今日迄だそうで最後の暑さを楽しみましょう！」

杉本さん「金田さんの卓話聞けず残念ですが早退します。ごめんなさい。」

中川さん「10月7日息子が五箇山 相ノ倉の子と結婚しました♡」

広上ニコニコBOX委員長「金田会員、会員卓話よろしくお願ひします。」

ニコニコBOX 合計 16,000円
通算 373,500円

本日もたさんのニコBOX
ありがとうございます。
会報の紙面ある限り掲載
していきたいと思ひます。
会報に対する要望ご意見は事務局まで♪

家持くん



今後のプログラム

- ◎10月29日(日)地区大会のため簡易例会に変更@9:30 商工ビル10F
- ◎11月 1日(水)地区大会報告
- ◎11月12日(日)早朝リンゴ狩り例会
*11/8(水)を変更
- ◎11月15日(水)会員卓話(伊勢豪範会員)
- ◎11月22日(水)卓話
- ◎11月26日(日)早朝清掃例会@高岡古城公園
*11/29(水)を変更

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

プログラム： 会員卓話

『段ボール業界の今』 金田 豊 和 会員

金田 豊 和 会員の紹介

入会日：2016. 5. 18

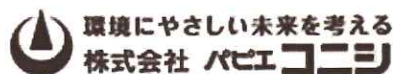
勤務先：(株)パピエ コニシ 代表取締役

〒933-0343

高岡市宝来町880

☎31-1011 ☎31-2722

職業分類： 紙製品製造



段ボール業界の現状については、中国や東南アジアのネット通販が好調なことから国内の段ボール古紙の輸出価格が高騰しており古紙からできる段ボール原紙、段ボールシート、製品が値上がりの方で動いている。国内にはレンゴー、王子など段ボール原紙から段ボールシート、製品まで生産する一貫メーカーや段ボールシート、製品を生産する独立系（中堅）メーカー、段ボールシートを購入して製品を作る、ボックスメーカーがあります。国内の段ボール需要は飲料を含む加工食品、青果物が半分を占め、電気器具、薬品、ガラス製品、建材、通販・引越しなど多く使用されています。みかん箱みたいな形状のケースは一貫メーカー、独立系（中堅）メーカー、ボックスメーカーのどこでも作ることが可能ですが、ロットが大きいと価格面において一貫メーカーや独立系（中堅）メーカーは過剰な設備が整っていることからコストを考えてもボックスメーカーには厳しいことがひとつの要因です。しかし、ボックスメーカーは小規模ではあるが、地場での小ロット対応や顧客に特化したサービス、加工技術があることで差別化でき事業を確保できていると思います。

ここで当社の紹介をしたいと思います。当社は片面に段成形になった片面段ボールの製造販売をしており、用途としては日本酒、食品などの美粧箱、化粧箱などのパッケージやアルミ建材用の緩衝剤、梱包材、また㎡のグラム数が軽い柔らかい片面段ボールは引越しの際、大切な商品を保護するのに適しています。当社のような小さい企業はこれから加工技術を明確にして、取引先との連携をしていくことが大事だと考えています。

～質問コーナー～

Q：段ボール製品で珍しい特長のあるものはあるのか？

A：防災関連での簡易トイレやベッドなど開発されたものでしょうか。

Q：電気製品は段ボール梱包で中の保護材に発泡スチロールやコーナーに包材など入っているが、客先から仕様形態の要望等はあるか？

A：ご要望もありますが、新製品であればコスト面を考えご提案させていただいております。外装ケースに入る商品を確認してクッション材としてコア材や積層ダンボールなども使っておりますが、耐久性重視で考えると強度と価格面での発砲スチロールが使われています。

Q：会社の強みは？

A：お客様にあった段ボール加工、小ロット対応や片面段ボールのご提案で両面段ボールよりも少しでもコストが改善できることだと思います。

Q：机や家具、災害時などでの機能性段ボールについては？

A：設備の問題もありますが、手づくりのことを考えるとなかなか難しいと思います。これから課題として勉強させていただきます。